

令和5年（2023年）度4月入学

千葉大学大学院

人文公共学府（博士前期課程）

【追加選抜】

学生募集要項

令和5年2月

人文公共学府ホームページ <https://www.gshpa.chiba-u.jp/>

出願資格認定申請：令和5年2月24日（金）
（注）出願資格ケ、コ、サより出願する者のみ
出願期間：令和5年3月1日（水）～令和5年3月2日（木）
入学試験日：令和5年3月10日（金）
合格発表日：令和5年3月23日（木）15時
入学手続日：令和5年3月29日（水）

〈注意事項〉

新型コロナウイルスをめぐる状況によっては、この募集要項の内容が変更される場合がありますので、人文公共学府のHPに十分注意してください。

目 次

I 追加選抜募集要項

1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願資格ケ, コ, サの認定	2
4. 出願手続	3
5. 入学者選抜	5
6. 試験方法	7
7. 合格者発表	7
8. 入学試験に係る個人情報の提供について	7
9. その他の留意事項	7
10. 入学手続	8

II 人文公共学府（博士前期課程）案内

1. 学府の目的と概要	9
2. 専攻, コース, 履修プログラムの名称及び学位の名称	11
3. 専攻, コース, 履修プログラムの概要	11
4. 入学定員	13
5. 修了の要件	13
6. 教育方法の特例について	13
7. 長期履修学生制度について	13
8. 博士前期課程ダブルディグリープログラムについて	14
9. 学府が求める基本的な日本語能力について	14
10. 問い合わせ先	14

III 人文公共学府（博士前期課程）各専攻指導教員一覧

1. 研究指導担当予定教員一覧（令和4年度）（人文科学専攻）及び試験区分	15
2. 研究指導担当予定教員一覧（令和4年度）（人文科学専攻：教育・学修支援コース）	17
3. 研究指導担当予定教員一覧（令和4年度）（公共社会科学専攻）	18

IV 出願書類等

I 追加選抜 募集要項

1. 専攻及び募集人員

専攻・コース（履修プログラム）		募集人員
人文科学専攻	基盤文化コース （哲学・倫理学，社会学・文化人類学，心理学・認知科学，歴史学，日本文学・日本語学，比較文化学，英語圏文化学，西洋古典学，言語学の各履修プログラム）	若干名
	多文化共生コース （ジェンダー論，ユーラシア研究，東アジア研究，イスラーム・比較社会論，ヨーロッパ研究，文化資源論，日本語教育研究，多言語社会コミュニケーション論の各履修プログラム）	
	教育・学修支援コース	
公共社会科学専攻	公共学コース 経済・経営学コース Economics in English コース	
	経営学・会計学 志望者	
	経済学 志望者	

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- ア. 大学（学校教育法第83条第1項に定める大学をいう。以下同じ）を卒業した者及び令和5年（2023年）3月までに卒業見込みの者
- イ. 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年（2023年）3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ウ. 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年（2023年）3月までに修了見込みの者
- エ. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年（2023年）3月までに修了見込みの者
- オ. 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年（2023年）3月までに修了見込みの者
- カ. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年（2023年）3月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- キ. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年（2023年）3月までに修了見込みの者
- ク. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ケ. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって，本学府において，大学院における教

育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

コ. 令和5年(2023年)3月までに次の各号の一に該当する者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

- ① 大学に3年以上在学した者
- ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

サ. 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和5年(2023年)3月までに22歳に達するもの

3. 出願資格ケ、コ、サの認定(出願資格は、「2. 出願資格」参照)

出願資格ケ、コ、サにより出願を希望する者は、下記により出願資格認定申請を行ってください。

(1) 提出書類

【出願資格認定に係る申請書】

出願資格ケの者	<ul style="list-style-type: none">・入学試験出願資格認定申請書(別紙様式)・出身大学(学部、大学院)の成績証明書・出身大学(学部、大学院)の履修規程
出願資格コの者	<ul style="list-style-type: none">・入学試験出願資格認定申請書(別紙様式)・出身大学(学部)の成績証明書・出身大学(学部)長の推薦書・出身大学(学部)の履修規程・その他必要とする書類
出願資格サの者	<ul style="list-style-type: none">・入学試験出願資格認定申請書(別紙様式)・実務経験等に関する調書(別紙様式)・最終学校の卒業証明書・成績証明書・その他必要とする書類
出願資格ケ・コ・サの者	【外国人志願者のみ】 学歴調書(外国人志願者、別紙様式)

(注) 出願資格コ・サに係る出願者は、出願前にあらかじめ人社系学務課大学院学務室へ問い合わせてください。

(2) 提出期間・提出先

【提出日】令和5年2月24日(金)

受付時間は、9時から11時30分、13時30分から16時30分まで

(郵送による場合は、書留郵便とし、封筒の表に「大学院人文公共学府博士前期課程出願資格認定申請書」と朱書きし、この日の16時までに必着とします。)

【提出先】〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1番33号

千葉大学 人社系学務課 大学院学務室(文学部棟1階)

電話: 043-290-2354

(3) 結果の通知

令和5年2月28日(火) ごろにメール等により通知します。

(4) その他

・出願資格「コ」に係る成績確認等最終判定について

出願資格コの者で、合格者は、令和5年3月29日(水)までに再度、成績証明書(3年次までに修得し

たすべての科目・単位を記載したもの)を提出してください。

なお、外国において学校教育における15年の課程を修了見込で申請書を提出した者は、修了(卒業)証明書及び出身大学の成績証明書を提出してください。

提出された書類に基づき可否の最終判定を行います。この場合、判定結果によっては合格を取り消す場合もあります。

最終判定の発表は、**令和5年3月30日(木)**15時です。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和5年3月1日(水)から3月2日(木)まで

受付時間は、9時から11時30分、13時30分から16時30分まで
(郵送による場合は、**3月2日(木)**16時まで**に必着**とします。)

(2) 出願方法

ア. 出願書類等は一括して提出してください。

イ. 出願書類を郵送するときは、日本国内から郵送する場合は書留郵便とし、封筒の表に

「**大学院人文公共学府博士前期課程入学願書**」と朱書きしてください。

日本国外から出願する場合は、**必ずあらかじめ大学院学務室(gah2352@office.chiba-u.jp)へメールで連絡の上**、EMSで送付してください。事前の連絡がない場合は、出願書類を受理しないことがあります。

ウ. 出願書類提出先

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1番33号

千葉大学 人社系学務課 大学院学務室(文学部棟1階)

電話:043-290-2354

(3) 検定料

30,000円

下記により、**必ず出願前に**、検定料を払い込んでください。

①検定料払込期間:令和5年2月22日(水)14:00から令和5年3月2日(木)まで

②払込方法:

「**E-支払いサービス**」を利用し、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより払い込んでください。

※払込手順等は、別紙「千葉大学 検定料払込方法」やE-支払いサービスWebサイトの「**利用ガイド**」を参照してください。ご不明な点は、同サイトの「よくある質問」を確認の上、E-支払いサービスサポートセンターに問い合わせてください。

※事務手数料は各自で負担してください。

③払込後の手続:

収納証明書を入学願書の裏面に貼付し提出してください。収納証明書の取得は以下のとおりです。

- ・コンビニエンスストア決済の場合→店舗で受け取ってください。
- ・ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合
→E-支払いサービスWebサイトの「**申込内容照会**」から印刷してください。

④一旦納入された検定料は、原則返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が、所定

の返還手続を行った場合は返還します。返還手続の詳細は、大学院学務室に確認してください。なお、返還手続期限は令和5年3月31日（金）となります。

■ E-支払いサービス (<https://e-shiharai.net/>)

インターネット上から、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードから希望の払込方法を選択の上、検定料の払込等ができるサービスです。



※当サイトへの事前申込が必要です。

■ 海外から志願される方へ

日本国外在住の志願者についてはクレジットカードのみ利用できます。

クレジットカードでの払込後、E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から収納証明書を印刷し、入学願書の裏面（収納証明書貼り付け欄）に貼付してください。

※英語版サイト (<https://e-shiharai.net/ecard/>)

外国人留学生向けの英語版サイトです。こちらはクレジットカード決済のみの案内となります。決済後、印刷した「Result Page」を出願書類と共に提出してください。



(4) 出願書類等

志望する専攻等により出願に必要な提出書類が異なるので注意して下さい。

出願書類提出後には、学力検査科目等の変更を一切認めません。

○志願者は、以下の書類を提出すること。

入学願書	所定の様式に必要な事項を記入してください。
受験票・写真票	所定の様式に必要な事項を記入してください。
卒業(見込)証明書及び、成績証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの（日本語・英語以外の場合には英訳又は和訳を添付すること）卒業見込の者は、後日「卒業証明書」を提出してください。
学位授与証明書又は学位が授与される見込であることを証明する書類	出願資格イ. に該当する者で大学改革支援・学位授与機構が証明した学位授与証明書、又は学位が授与される見込であることを証明する書類（大学改革支援・学位授与機構が発行する「学位授与申請受理証明書」又は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学位授与を申請した旨の証明書」）
研究計画書	所定の様式に記入のうえ、 5部 提出してください。なお、研究計画書は1枚で作成してください。
論文等	3部 提出してください。作成はA4判、ワープロ使用可、論文題目及び氏名を記載した表紙を付けて仮綴じしてください。出願する専攻（コース）により、テーマ・字数等が指定されています。
	●人文科学専攻：基盤文化コース、多文化共生コース 様式・枚数は指定しません。（単位として認定されたもの以外でも可。） 卒業論文がない場合、又は卒業論文と志望する教育研究分野との関連が薄い場合は、志望する教育研究分野に関連した論文を提出してください。 論文が日本語又は英語以外の場合は、論文 3部 とともに日本語要旨（1,200字以上） 3部 を提出してください。
	●人文科学専攻：教育・学修支援コース リサーチペーパー、卒業論文、雑誌論文、その他の論文。分野は問いません。また、様式、枚数は指定しません。論文が日本語または英語以外の場合は、論文 3部 とともに日本語要旨 3部 を提出してください。

	<p>●公共社会科学専攻：公共学コース 社会科学分野の任意の問題をテーマとする<u>日本語の論文</u>（横書き，10,000～20,000字程度）</p> <p>●公共社会科学専攻：経済・経営学コース（経営学・会計学を志望する者） 自己の論理展開能力を示す<u>日本語の論文等</u>。分野は問いません。リサーチペーパー，ワークサンプル，企業等報告書を含めます。共著の場合は分担部分を明示してください。（横書き，10,000字程度）</p> <p>●公共社会科学専攻：経済・経営学コース（経済学を志望する者） 修士課程における修学に必要な能力を示す卒業論文，雑誌論文，その他論文等（日本語または英語）。共著の場合は分担部分を明示してください。</p> <p>●公共社会科学専攻：Economics in English コース <u>An applicant is required to submit a copy of graduation thesis, journal paper, research paper or miscellaneous paper written in English or Japanese. It should illustrate the applicant's ability required to study in the Master's program. For a coauthored paper, indicate the part where the applicant is in charge of.</u></p>
写真2枚	受験票及び写真票に貼り付けてください。 （上半身，正面，脱帽で出願前3ヵ月以内に撮影したもの）
受験票送付用封筒 ※日本国内から出願する者のみ	長形3号の封筒に住所（日本国内），氏名，郵便番号を記入し， 344円分の切手 を貼り付けてください。
出願書類チェックリスト	所定の様式に記入してください。

○外国人志願者は、以下の書類も出願書類とあわせて提出すること。

また、英語又は日本語でない書類の場合は、それぞれ英訳又は和訳を添付すること。

学位授与を証明する書類	（外国の大学を卒業した者のみ） 学士学位証明等の写しを提出する場合は，窓口で原本を提示してください。
住民票（原本）又は 在留カードの両面写し	市区町村発行のもの（在留資格及び在留期間が記載されたもので個人番号（マイナンバー）の記載のないもの）又は在留カードの両面写し なお，住民登録していない者はパスポートの写し（本人の氏名，生年月日，性別，在留資格を表示する部分及び日本国査証の部分）を提出してください。
学歴調書（外国人志願者）	所定の様式に記入してください。
国費外国人留学生証明書	（国費外国人留学生のみ）国費外国人留学生であることの証明

5. 入学者選抜

入学者の選抜は，口述試験及び出願書類（論文等を含む）を総合して行います。

※ 特に記載がない場合，口述試験は日本語により行われます。

ア. 学力検査等の日時

科 目	日 時
口述試験（オンライン）	令和5年3月10日（金）

（注）試験時間・試験方法については，受験票の送付時に通知します。

イ. 学力検査科目等

人文科学専攻（基盤文化コース，多文化共生コース）

人文科学専攻（基盤文化コース，多文化共生コース）は，第一希望指導教員の試験区分毎に学力検査科目等が異なります。各教員の試験区分は17ページ以降の「Ⅲ 人文公共学府(博士前期課程)各専攻指導教員一覧」を参照してください。

なお、追加選抜では、筆記試験は実施しませんが、筆記試験の内容を口述試験の中で実施することとしておりますので、以下の筆記試験の内容についてもご確認願います。

日本語学及び第二言語教育の試験区分では、今回の募集は行いません。

試験区分	筆記試験	口述試験
哲学	哲学に関する英文テキストの読解を課す。哲学の理論、概念について問う。	専門知識や研究計画について口頭で問う。
認知情報科学		専門知識や研究計画について口頭で問う。
心理学	心理学に関する英文の読解能力を確認するための筆記試験を課す。心理学の理論、概念、方法論について問う。	提出された論文、研究計画、および専門知識について口頭で問う。
社会学	入学後の研究遂行に必要な専門知識・論理的思考力・構想力等を確認すると共に、研究に必要な英語、資料読解等の能力を問う。	専門知識や研究計画について口頭で問う。
文化人類学		その場で提示される文化人類学に関するテキスト（1～2段落程度）をもとに、文化人類学の議論や概念の理解について問う。そして、その次にエッセイ、研究計画書について問う。（受験者は、使用言語として日本語または英語を選択できる。）
歴史学	入学後の研究遂行に必要な専門知識・論理的思考力・構想力等を確認すると共に、研究に必要な外国語、資料読解等の能力を問う筆記試験を行なう。	提出された論文・研究計画等をもとに口頭試験を行なう。 必要に応じ、専門知識や、文献・資料の読解能力についても、適宜口頭で問う場合がある。
日本文学	1. 英語の基礎的読解能力を問う。 2. 当該分野の基礎的知識と論理的思考力を問う。	必要に応じ、専門知識や、文献・資料の読解能力についても、適宜口頭で問う場合がある。
日本語学	今回の選抜では募集しません	
ユーラシア文化		関連分野の基礎知識に関する質問（語学能力なども含む）、本学への志望理由と研究テーマに関する質問を行う。
比較文化		論文や研究計画についての質疑応答を行い、専門知識・専門とする言語の能力を問う。出願時に提出した論文と研究計画書を持参すること。
言語学		専門知識や研究計画について口頭で問う。また、テキストを見せて内容解釈を問う場合もある。
日本語教育	研究に必要な英語の基礎的な読解能力を問う。	日本語教育・異文化間コミュニケーションの基礎知識および研究計画について問う。
第二言語教育	今回の選抜では募集しません	

人文科学専攻（教育・学修支援コース）

試験区分	筆記試験	口述試験
教育・学修支援 コース	英語の基礎的読解能力及び当該分野の基礎的知識と論理的思考力を問う。	研究計画や論文等の内容、研究遂行能力、あるいは教育・学修支援領域に対する知識、関心や意識を問う。

専攻・コース	筆記試験	口述試験
公共学コース		提出された論文・研究計画書等について審査するとともに、 <u>文献・資料・データの読解及び分析の能力等専門研究の基礎となる学力</u> を検査します。
経済・経営学コース (経営学・会計学を志望する者)		提出された論文・研究計画書等について審査するとともに、 <u>文献・資料・データの読解及び分析の能力等専門研究の基礎となる学力</u> を検査します。
経済・経営学コース (経済学を志望する者)		提出された研究計画書と論文等について、研究の独創性と計画性、論理展開能力、高度専門職業人としての将来性の観点から口頭試問する。さらに、ミクロ経済学、マクロ経済学および統計学の分野全般における基礎学力についても口頭試問する。
Economics in English コース		Based on the research proposal, the thesis and other submitted materials, each applicant is going to be orally examined for his/her ability to plan an original research, that to present his/her idea logically, and his/her prospect to be a researcher for novel aspects of economics. He/she will be also examined orally for basic academic knowledge of micro-economics, macroeconomics and statistics. The language to be used in examination is English.

6. 試験方法

パソコン・タブレット端末を使用したオンライン選抜（Zoomを使用する。）

7. 合格者発表

令和5年3月23日（木）15時以降に千葉大学大学院人文公共学府ホームページ（<https://www.gshpa.chiba-u.jp/>）で行うとともに、合格者には合格通知書及び関係書類を願書に記載された住所宛に速達・簡易書留で送付します。なお、合否についての電話等での照会には応じません。

8. 入学試験に係る個人情報の提供について

本試験に関する個人情報の提供については、令和5年5月8日（月）から6月30日（金）までの間、受験者本人からの申し出により情報提供を行います。

なお、その際には受験票が必要となりますので、大切に保管しておいてください。

9. その他の留意事項

- (1) 出願書類等に不備があるときは受理しないことがあります。
- (2) 出願資格によっては、所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求めることがあります。
- (3) 出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合及び提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願書類及び検定料は返還しません。

ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が**令和5年3月31日（金）**までに所定の返還手続を行った場合は、検定料を返還します。返還手続の詳細については、人社系学務課大学院学務室に確認してください。

- (5) 身体等に障害のある者で、受験上又は修学上、特別の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ事前相談の申請を行ってください。申請に基づき、本学関係者で検討します。

事前相談の締切日：**令和5年2月27日（月）**

提出書類：①事前相談申請書（用紙は人社系学務課大学院学務室に請求してください。）

②障害の種類及び必要とする具体的な措置等を記載した医師の診断書

- (6) 受験票が試験日**2日前**になっても到着しない場合は、人社系学務課大学院学務室（電話：043-290-2354）にお問い合わせください。
- (7) 入学者選抜の過程で収集した個人情報が入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- (8) 受験のための宿泊施設の斡旋は行いません。
- (9) 日本国外から受験のために入国する場合、査証（ビザ）に関する手続については、出願者が事前に自国の日本大使館・領事館に確認して、自らの責任で手続を行ってください。
- (10) 新型コロナウイルスをめぐる状況によっては、この募集要項の内容が変更される場合があるので、人文公共学府のHPに十分注意してください。

10. 入学手続

(1) 入学手続日

令和5年3月29日（水）

（入学手続の時間、場所及び提出書類等については後日通知します。）

(2) 入学時の必要経費

入学手続の際には、次の経費が必要となりますので、あらかじめ用意しておいてください。

納入する主な経費

① 入学金 **282,000円**

（注）1. 授業料の納入については、入学後の前期分授業料は5月に、後期分授業料は10月に預金口座振替により納入願います。口座振替手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。

なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ**321,480円（年額642,960円）**です。

また、入学して2年目から、前期分授業料は4月が口座振替の月となります。

2. 入学金及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学金及び新授業料等が適用されます。

3. 入学金及び授業料が免除される制度があります。

ただし、免除範囲に限度がありますので、必ず免除になるとは限りません。

詳細は、本学ホームページ

<https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/payment/exemption.html> をご覧ください。

問い合わせ先：学務部学生支援課（電話：043-290-2178）

② 学生教育研究災害傷害保険料 **2,430円（2年分）** 全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）（付帯賠償責任保険を含む）

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。

また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。

保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。

詳細は、学務部学生支援課にお問い合わせください。（電話：043-290-2162）

【その他】

西千葉地区に学生も利用できる保育園があります。ただし、利用者が定員を満たしていない場合に限り申込みができます。詳細は、学務部学生支援課にお問い合わせください。

（電話：043-290-2178）

Ⅱ 人文公共学府(博士前期課程)案内

目 次

1. 学府の目的と概要	9
2. 専攻、コース、履修プログラムの名称及び学位の名称	11
3. 専攻、コース、履修プログラムの概要	11
4. 入学定員	13
5. 修了の要件	13
6. 教育方法の特例について	13
7. 長期履修学生制度について	13
8. 博士前期課程ダブルディグリープログラムについて	14
9. 学府が求める基本的な日本語能力について	14
10. 問い合わせ先	14

Ⅱ 千葉大学大学院人文公共学府（博士前期課程）案内

1. 学府の目的と概要

グローバル化や科学技術の進展に代表される21世紀の急速な社会変化は、私たちの「現在」に様々な課題をもたらしています。地球規模の環境問題、国境を超えた紛争、連鎖する経済危機等のグローバルな課題、少子高齢化やそれに伴う地域間格差等の日本が世界に先駆けて直面している難題、これらの課題は、従来の細分化した知の体系では太刀打ちできない場合も多く、知識基盤社会が生み出す新たな知の体系がその解決に寄与することが期待されています。同時に「次世代の知」は、新たな価値やイノベーションを創出することで、次世代社会の成長を促進することも期待されています。千葉大学では、このような「次世代へ向けた知の創出機能」を果たす新領域・分野融合の新たな研究領域の開拓、産業界のニーズに応える人材養成、さらには新たな課題を見つけ出す能力を持つ人材を生み出す教育の実践を目標に掲げています。

千葉大学大学院において人文科学・社会科学の教育研究に携わるわれわれスタッフは、21世紀のグローバル社会の課題に応えるべく、千葉大学文学部（人文科学）と法政経学部（社会科学）の学士課程を基盤とし、より高度な人文科学と社会科学の教育研究を実践しつつ、「公共学」という人文科学と社会科学を融合した学際的・実践的な学問分野を特色とし、成果を蓄積してきました。

「公共学」とは、社会的課題に対する解決策を学問的に探究するにあたり、「公共性とは何か」「共生とは何か」「公正とは何か」といった倫理的目標の本質となる問題を掘り下げながら、将来的な「あるべき社会」像を求め、それを実現するために、そこから「逆算して」現時点において必要にして可能な方策を考察していこうとする研究分野です。

このような「公共学」というこれまでの強みを活かし、現代社会の要請とそれに応える全学的改革方針に基づき、人文社会科学分野における「次世代へ向けた知の創出機能」を新たに構想し、平成29年度に人文公共学府を設置しました。

人文公共学府では、「公共学的視点」に立ってグローバルとローカルの社会的課題を解決する能力を涵養するとともに、高度な専門的能力を養成し、次世代社会の課題を解決する「次世代型グローバル人材養成」を目的とします。

「公共学的視点」とは「学際性」「国際性」「実践性」「社会性」という、大学院で修得する専門知の能力を発揮すべき4つの観点です。従来、千葉大学大学院における公共研究で成果を挙げてきたものであり、「次世代型グローバル人材養成」に必須な視点として、学府全体の教育研究の基礎となります。

「公共学的視点」による課題解決能力及び高度な専門的能力を涵養・養成するため、体系的・組織的なカリキュラムや専門知の質を保証するカリキュラムを整備し、急速な社会的課題の変化に対応し得る柔軟な教育体制が必要となります。そこで、人文公共学府では、5年一貫の区分制大学院として、博士前期課程に「人文科学専攻」（3コース）「公共社会科学専攻」（3コース）の2専攻、博士後期課程に「人文公共学専攻」（3コース）1専攻を置きます。

博士前期課程は、専攻分野はもとより、学際的・総合的分野における研究能力を涵養し、又は高度専門職業人の自立的活動に必要な高度の学識を授けることを目的としています。

本課程には、人間行動の現在と過去について国際的、学際的に広く研究する「人文科学専攻」、公共学研究の他、政治学・法学・経済学・経営学等の従来からの知の体系を研究・極められる「公共社会科学専攻」という目標と特色を持つ2つの専攻があります。

出願は、専攻別となります。出願すべき専攻は、研究指導を希望する教員が所属する専攻となりますのでご注意ください。

選抜試験出願に際して、以下の情報について該当ページやホームページを参照し、検討してみてください。

○令和5年度の研究指導担当予定教員及び開設授業科目について

→15ページ「研究指導担当教員一覧（令和4年度）」

→人文公共学府ホームページ：<https://www.gshpa.chiba-u.jp/>

人文公共学府を担当する教員は、文学部、法政経学部、国際教養学部において学部の授業を担当しており、研究内容等について各学部のホームページに記載がありますので、確認の上、願書に希望教員名を記入してください。

文学部ホームページ：<https://www.l.chiba-u.ac.jp/>

法政経学部ホームページ：<https://www.le.chiba-u.ac.jp>

国際教養学部ホームページ：<https://www.las.chiba-u.jp>

○取得できる学位と専攻・教育研究分野の概要について

→次ページ「2. 専攻，コース，履修プログラムの名称及び学位の名称」

→次ページ「3. 専攻，コース，履修プログラムの概要」

2. 専攻, コース, 履修プログラムの名称及び学位の名称

専攻	コース	履修プログラム	授与する学位
人文科学専攻	基盤文化コース	履修プログラム： <ul style="list-style-type: none"> - 哲学・倫理学 - 社会学・文化人類学 - 心理学・認知科学 - 歴史学 - 日本文学・日本語学 - 比較文化学 - 英語圏文化学 - 西洋古典学 - 言語学 	修士（文学） 修士（学術）
	多文化共生コース	履修プログラム： <ul style="list-style-type: none"> - ジェンダー論 - ユーラシア研究 - 東アジア研究 - イスラーム・比較社会論 - ヨーロッパ研究 - 文化資源論 - 日本語教育研究 - 多言語社会コミュニケーション論 	
	教育・学修支援コース		修士（学術）
公共社会科学専攻	公共学コース		修士（公共学） 修士（政治学） 修士（学術）
	経済・経営学コース		修士（経済学） 修士（経営学）
	Economics in English コース		修士（経済学） (Master of Arts (Economics))

3. 専攻, コース, 履修プログラムの概要

(1) 人文科学専攻

人文科学と社会科学を融合させ、グローバル社会の直面する新しい課題に深い人文的教養から新鮮なアプローチを行う課題発見力を有すると同時に、グローバル社会及び地域社会との対話力・発信力を持つ人材を養成します。

公共学的視点に基づく学際性・国際性・実践性・社会性を身に付ける教育カリキュラムによって、広い教養と専門性の深化に基づく課題発見力を育成するだけでなく、海外インターンシップ等の経験による社会的行動力を育成します。

① 基盤文化コース

人間とその文化・社会に関わる人文科学の基盤的専門分野に対応した、「哲学・倫理学」・「社会学・文化人類学」・「心理学・認知科学」・「歴史学」・「日本文学・日本語学」・「比較文化学」・「英語圏文化学」・「西洋古典学」・「言語学」という9つの履修プログラムを設定します。「基盤文化コース」で授与する学位は「修士（文学）」を基本とし、人文科学を幅広く学際的に履修し、相応の修士論文テーマであると評価された場合に「修士（学術）」を授与します。

② 多文化共生コース

1つの専門分野では扱えない複合領域的な課題である、「ジェンダー論」・「ユーラシア研究」・「東アジア研究」・「イスラーム・比較社会論」・「ヨーロッパ研究」・「文化資源論」・「日本語教育研究」・「多言語社会コミュニケーション論」という8つの履修プログラムを設定します。「多文化共生コース」で授与する学位は「修士（学術）」を基本とし、専門分野や対象を限定し、深く掘り下げた修士論文テーマであると評価された場合に「修士（文学）」を授与します。

③ 教育・学修支援コース

高等教育などの専門的な教育における教育・学修支援の専門的知識とスキルを習得するために、専門科目を「高等教育システムに関する理解」・「学生・学修に関する理解」・「教育・教育方法に関する理解」・「フィールドワーク・実践科目」の4つの領域に区分し、各領域から選択履修します。「教育・学修支援コース」では「修士（学術）」を授与します。

(2) 公共社会科学専攻

専門性と創造性を備え、変動著しいグローバル社会を的確に把握するとともに、実践的に社会の課題解決に取り組み、次世代に向けてリーダーシップを発揮する公共的人材を養成します。

公共学・経済学・経営学などの社会諸科学における専門性を身に付けた上で、隣接する人文諸科学も含む幅広い素養を兼ね備え、民間企業・公共部門のいずれにおいても社会の要請を的確に把握し、革新的な問題解決を主導していく能力を育成します。

① 公共学コース

公共学・政治学・政策学・法学・経済学にわたる学際的アプローチに基づき、「公共とは何か、共生とは何か」を追究する教育研究を行うことにより、後期課程に連動するかたちで教育を進め、グローバル化する現代社会に生起する複雑な問題に理論的・実践的に取り組み、市民社会を担う人材の養成をめざします。

② 経済・経営学コース

経済学を専攻し修士（経済学）の学位取得を希望する場合には、研究対象として興味がある経済学分野とそれに関連する会計・経営学分野の学際的かつ専門的な学術知識の修得、およびオリジナリティが高い学際的研究の遂行を通して、所属組織における高度専門職業人としてめまぐるしく変遷する経済環境の中での的確な判断ができる能力を

身に付け、修了後には広く国内ないし海外の企業や民間研究機関において上級管理職として活躍できる人材を育成します。経済学の普遍的な規範に立脚しつつ、時事的な経済問題に対する答えを多面的かつ複層的な考察を通じて導出しかつ実践できる先進性と行動力を涵養します。

経営学分野を志望する場合には、経営学・会計学などを総合的に学ぶことによって、高度専門職業人の養成を主たる目的とし、修了後には企業などにおける組織運営者や会計専門職等の養成をめざします。具体的には、次の2つのタイプの人材を養成するための教育プログラムを整備し、関連する研究分野の高度な能力を涵養します。

a) 第一のタイプは、企業において組織管理者（オーガナイザー）としての役割を果たし得る実践的な能力を有する人材を養成します。

b) 第二のタイプは、会計専門職をはじめ、高度な能力を有する会計の専門家として、企業や自治体の現場で指導的な役割を果たし得る能力を有する人材を養成します。

③ Economics in English Course

Students acquire an ability to plan and conduct a highly specialized research about novel aspects of economies that can be respected internationally. Based on solid backgrounds of microeconomics, macroeconomics and econometrics, students become capable of finding intellectual solutions for new economic problems on global academic standard and spreading them internationally. For this purpose, course works on specialized subjects and discussions on researches are done in English. After graduation, students are expected to move into doctoral programs of economics and engage in further advanced researches by which they would become internationally acclaimed researchers.

4. 入学定員

専攻	入学定員
人文科学専攻	34
公共社会科学専攻	9
計	43

5. 修了の要件

修了の要件は、32単位以上（留学に係る単位を含む）を修得し、必要な研究指導を受けたうえ修士論文を提出し、審査及び最終試験に合格することです。標準修業年限は2年ですが、特に優れた業績を上げた者については、修業年限の特例を適用できます。

6. 教育方法の特例について

大学院人文公共学府博士前期課程では、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うことがあります。

履修の方法などについては、入学後指導教員と相談しながら決定することになります。教

育・学修支援コースでは、社会人学生の履修を想定し、この特例を積極的に活用する予定です。

7. 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が限定される等の理由により、本学府の標準修業年限（博士前期課程は2年間）を超えて在学しなければ課程を修了することが出来ないと考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、標準修業年限を超えた在学をあらかじめ認めた上で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。

長期履修学生として認められた者は、通常の修業年限において支払う授業料の総額を、あらかじめ認められた修業年限を超えた年数（学期）で除した額をそれぞれの年（学期）に支払うこととなります。例えば、3年間の長期履修学生として認められた場合は、2年間（通常の修業年限）に支払うべき授業料総額を3年間に分割して支払うこととなります。

[長期履修学生制度の対象]

職業等に従事することにより学習時間に制約を抱え修得可能な単位数等が限定される者
申請方法等は、合格通知とともにお知らせします。

なお、長期履修学生を希望する場合は「入学願書」及び「研究計画書」の所定欄に希望する旨の表示を記入してください。

8. 博士前期課程ダブルディグリープログラムについて

千葉大学大学院人文公共学府と浙江工商大学東方語言・哲学学院（中国）との間に、ダブルディグリープログラム協定（博士前期課程）を締結しています。本プログラムは、両大学院で指定する修了要件を満たした際、両大学の学位がそれぞれ取得可能となるものです。人文公共学府では、人文科学専攻・多文化共生コース・東アジア研究プログラムを履修する者が対象となります。プログラム出願資格等、さまざまな条件がありますので、詳細については別途お問い合わせください。

9. 学府が求める基本的な日本語能力について

英語により修了が可能な一部コースを除き、指導教員からの研究指導や日本語による講義科目の受講などの場面で専門的な日本語能力が求められます。また、全てのコースに共通して、生活上必要とされる日本語能力を備えていることが推奨されています。

10. 問い合わせ先

千葉大学 人社系学務課 大学院学務室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

電 話	043-290-2354
F A X	043-290-2356
電子メール	gah2352@office.chiba-u.jp

Ⅲ 人文公共学府(博士前期課程)

各専攻指導教員一覧

目 次

1. 研究指導担当教員一覧（令和4年度）（人文科学専攻：基盤文化コース、多文化共生コース）
2. 研究指導担当教員一覧（令和4年度）（人文科学専攻：教育・学修支援コース）
3. 研究指導担当教員一覧（令和4年度）（公共社会科学専攻）

1. 研究指導担当教員一覧(令和4年度)(人文科学専攻:基盤文化コース, 多文化共生コース)

指導教員は、令和5年2月現在のものであり、都合により変更になる場合があります。
 <★印：令和5年3月退職予定者、▲印：令和6年3月退職予定者、◆印：令和5年度サバティカル研修予定者を示す。>
 開講予定授業科目は人文公共学府ホームページからご参照いただけます。

人文科学専攻基盤文化コース・多文化共生コース

指導教員名	試験区分 (冬季選抜)	主な科目名称 (演習科目等を除く。)	基盤文化コース履修プログラム										多文化共生コース履修プログラム					
			哲学・倫理学	社会学・文化人類学	心理学・認知科学	歴史学	日本文学・日本語学	比較文化学	英語圏文化学	西洋古典学	言語学	ジェンダー論	ユーラシア研究	東アジア研究	イスラーム・比較社会論	ヨーロッパ研究	文化資源論	日本語教育研究
和泉 ちえ	哲学	ギリシア哲学	*								*							
秋葉 剛史		存在の哲学	*															
内山 直樹		東洋哲学	*										*			*		
立花 幸司		倫理学	*															
山田 圭一		言語哲学	*								*							
阿部 明典	認知情報科学	知識情報科学			*													
傳 康晴		言語認知情報学			*					*								
牛谷 智一		多様性認知論			*													
松香 敏彦		認知情報解析学			*													
渡辺 安里依		比較認知行動論			*													
一川 誠	心理学	知覚認知論			*													
木村 英司		視知覚論			*													
磯部 智加衣		社会行動科学			*													
大隅 尚広		認知的個人差論			*													
★西阪 仰	社会学	社会的相互行為論		*														*
米村 千代		家族社会学		*							*		*					
清水 洋行		地域社会学		*									*					
吉岡 洋介		計量社会学		*														
出口 泰靖		医療・福祉社会学		*							*							
白川 優治		教育社会学		*														
福田 友子		国際社会学		*										*				
◆佐々木 綾子		国際社会福祉論		*							*							
◆五十嵐 洋己		社会階層論		*							*							
東島 仁		科学技術社会論Ⅱ		*														
高艸 賢		理論社会学		*														
小谷 真吾	文化人類学	生態人類学		*								*			*			
高橋 絵里香		医療人類学		*							*							
小林 聡子		言語人類学		*					*	*							*	
ガイタニディス、ヤニス		宗教人類学	*	*					*	*			*					
阿部 昭典	歴史学	考古学Ⅰ				*							*		*			
山田 俊輔		考古学Ⅱ				*							*		*			
★池田 忍		美術史				*					*		*		*			
大峰 真理		ヨーロッパ史Ⅱ				*								*	*			
崎山 直樹		ヨーロッパ史Ⅲ				*								*				
★小澤 弘明		ヨーロッパ史Ⅳ				*								*				
岩城 高広		中東・東南アジア史Ⅰ				*							*					
栗田 禎子		中東・東南アジア史Ⅲ				*							*					
檜皮 瑞樹		東アジア史Ⅰ				*							*		*			
山田 賢		東アジア史Ⅱ				*							*		*			
伊東 久智		東アジア史Ⅲ				*							*					
◆ピオンティーノ、ユリアン		東アジア史Ⅳ				*							*					
見城 悌治		日本思想史				*							*					
和田 健		民俗学				*							*		*			
神里 達博		科学技術社会論Ⅰ				*												
磯貝 真澄		中東・東南アジア史Ⅱ				*								*				
川合 真木子		視覚表象論				*												

指導教員名	試験区分 (冬季選抜)	主な科目名称 (演習科目等を除く。)	基盤文化コース履修プログラム										多文化共生コース履修プログラム						
			哲学・倫理学	社会学・文化人類学	心理学・認知科学	歴史学	日本文学・日本語学	比較文化学	英語圏文化学	西洋古典学	言語学	ジェンダー論	ユーラシア研究	東アジア研究	イスラーム・比較社会論	ヨーロッパ研究	文化資源論	日本語教育研究	多言語社会コミュニケーション論
兼岡 理恵	日本文学	日本文学Ⅰ					*							*		*			
柴 佳世乃		日本文学Ⅱ					*							*		*			
久保 勇		日本文学Ⅲ					*							*		*			
★大原 祐治		日本文学Ⅳ					*	*						*		*			
田草川 みずき		日本文学Ⅴ					*							*		*			
竹内 比呂也		図書館情報学					*									*			
★神戸 和昭	日本語学	日本語学Ⅰ					*			*					*				
★岡部 嘉幸		日本語学Ⅱ					*			*						*			
田口 善久	ユーラシア文化	ユーラシア言語論Ⅱ					*			*		*							
▲吉田 睦		ユーラシア文化論Ⅰ		*								*							
兒玉 香菜子		ユーラシア文化論Ⅱ		*								*							
周 飛帆		多文化共生論										*						*	
大森 雅子	比較文化	ロシア文化論						*							*				
山本 裕子		アメリカ文学論						*	*										
篠崎 実		イギリス文学論						*	*						*				
舘 美貴子		アメリカ文化論						*	*										
◆レイメント、アンドリュー		英語圏文化論						*	*										
山口 元		スペイン文学論						*							*				
▲泉 利明		フランス文学論						*							*				
橋本 知子		フランス文化論						*							*				
高橋 信良		比較演劇論						*							*				
西尾 悠子		ドイツ文学論						*							*				
高田 梓		ドイツ文化論						*							*				
高橋 知之		ロシア文学論						*							*				
★石井 正人		言語学	歴史言語学					*		*	*				*				
鎌田 浩二	理論言語学						*		*	*									
▲菅野 憲司	機能言語学								*	*	*								
吉野 文	日本語教育	日本語教育研究Ⅰ														*	*		
▲佐藤 尚子		日本語教育研究Ⅱ														*	*		
西住 奏子		日本語教育研究Ⅲ								*						*	*		
▲村岡 英裕		多言語社会コミュニケーション論Ⅰ								*						*	*		
高 民定		多言語社会コミュニケーション論Ⅱ								*						*	*		
野村 和之		異文化間教育学	*	*			*	*	*	*	*					*	*		
本間 祥子		年少者日本語教育論								*						*	*		
竹蓋 順子	第二言語教育	応用言語学研究							*								*		
森川 セーラ		英語学習法							*								*		
与那覇 信恵		CALL教材開発論Ⅰ							*								*		
▲高橋 秀夫		CALL教材開発論Ⅱ							*								*		

2. 研究指導担当教員一覧（令和4年度）（人文科学専攻：教育・学修支援コース）

指導教員は、令和5年2月現在のものであり、都合により変更になる場合があります。
 <★印：令和5年3月退職予定者、▲印：令和6年3月退職予定者を示す。>
 開講予定授業科目は人文公共学府ホームページからご参照いただけます。

指導教員名	専門領域	主な担当科目名
竹内 比呂也	図書館情報学	専門教育論
織田 雄一	教育行財政学，大学運営論， 国際教育学	大学教務論
大西 好宣	比較高等教育学，非営利組織論， 国際協力論	留学支援論，アドミッション論
白川 優治	教育社会学，教育行財政学， 高等教育論	高等教育政策論，現代学生論，学生支援論
岡田 聡志	高等教育論，教育社会学，Institutional Research	教育評価論
國本 千裕	図書館情報学，大学図書館、 学習理論（熟達化）	学習環境論
松本 暢平	教育社会学，歴史社会学，医学教育学	教育方法論

（参考）教育・学修支援コース開講予定授業科目一覧

「高等教育システムに関する理解科目」領域	
専門教育論	竹内 比呂也（コーディネータ）
大学評価論	前田 早苗（非常勤）
大学マネジメント論	竹内 比呂也、織田 雄一
高等教育政策論	白川 優治
「学生・学修に関する理解科目」領域	
現代学生論 ※隔年開講	白川 優治
カウンセリング論 ※隔年開講	未定
メンタルヘルス論	大溪 俊幸※
学生支援論 ※隔年開講	白川 優治
大学教務論	織田 雄一
課外活動論	下永田 修二※
留学支援論	大西 好宣
「教育・教育方法に関する理解科目」領域	
ライティング指導論 ※隔年開講	未定
アカデミックアドバイス論 ※隔年開講	未定
教育方法論 ※隔年開講	松本 暢平
キャリア教育論 ※隔年開講	藤川 大祐※
教育評価論	岡田 聡志
アドミッション論	大西 好宣
学習環境論	國本 千裕
「フィールドワーク・実践科目」領域	
教育学修支援インターンシップA	織田 雄一
教育学修支援インターンシップB	織田 雄一
教育学修支援インターンシップC	織田 雄一
教育学修支援インターンシップD	大西 好宣
教育学修支援インターンシップE	大西 好宣
教育学修支援実践演習 I	竹内 比呂也
教育学修支援実践演習 I	竹内 比呂也
特別研究	
特別研究 I	竹内 比呂也，織田 雄一，大西 好宣， 白川 優治，岡田 聡志，國本 千裕，松本 暢平、
特別研究 II	
特別研究 III	

（注）当コースでは、修士論文の執筆にあたっては、特別研究担当者の集団で指導する体制を採用しています。
 ※印の教員は、指導教員にはなりません。

3. 研究指導担当教員一覧（令和4年度）（公共社会科学専攻）

指導教員は、令和5年2月現在のものであり、都合により変更になる場合があります。

<★印:令和5年3月退職予定者、▲印:令和6年3月退職予定者、

◆印:令和5年度サバティカル研修予定者を示す。>

開講予定授業科目は人文公共学府ホームページからご参照いただけます。

コース	指導教員名	主な担当科目名
公共学コース	小林 正弥	公共哲学, 公共哲学演習
	水島 治郎	公共政治論, 公共政治論演習
	石田 憲	国際政治, 国際政治演習
	▲内村 博信	公共文化論, 公共文化論演習
	三宅 芳夫	現代社会思想, 現代社会思想演習
	小川 哲生	公共政策論, 公共政策論演習
	大石 亜希子	現代雇用論, 現代雇用論演習
	小川 玲子	現代雇用論, 現代雇用論演習
	倉阪 秀史	環境経済政策論, 環境経済政策論演習
	石戸 光	国際インターンシップB
	伊藤 恵子	国際経済論, 国際経済論演習
	佐藤 健太郎	日本政治史, 日本政治史演習
	◆高光 佳絵	アメリカ外交史, アメリカ外交史演習
	五十嵐 誠一	国際関係論, 国際関係論演習
	▲酒井 啓子	中東政治, 中東政治演習
	李 想	国際政策論, 国際政策論演習
	関谷 昇	政治思想史, 政治思想史演習
	坂井 大輔	歴史と法学, 法律史料読解演習
	齊藤 愛	憲法, 憲法演習
	専田 泰孝	刑法, 刑法演習
	藤澤 巖	国際法, 国際法演習
	岡林 伸幸	民法・法律行為論, 民法総論演習
	青木 浩子	現代企業法, 現代企業法演習
皆川 宏之	雇用の法と政策, 雇用の法と政策演習	
川瀬 貴之	法理学, 法理学演習	
★横田 明美	公共政策と法, 公共政策と法演習	
経済・経営学コース (経営学)	清水 馨	組織論, 人的資源管理論, 中小企業特論
	佐藤 栄作	マーケティング論, マーケティング・サイエンス
	★善積 康夫	現代財務諸表論, 財務報告論, 国際財務報告論
	★内山 哲彦	現代管理会計論, 意思決定会計論
	小川 真実	ファイナンス論, 会計基準論
	横尾 陽道	経営戦略論, イノベーション特論
	高橋 宏承	組織論, ビジネスデータ解析特論
Economics / 経済・経営学コース (経済学)	青山 耕治	経済数学A, 情報科学
	大鋸 崇	計量経済学Ⅲ, 金融工学I, II, 経済学セミナー
	荻山 正浩	日本経済史I, II
	小野 理恵	戦略的市場ゲーム分析I, II
	金子 文洋	選択行動分析I, II, 金融経済学
	川久保 友超	データ解析, ベイズ統計学, 計量経済学
	岸本 信	ミクロ経済学Ⅲ, 産業組織論
	黒木 祥弘	金融論I, II
	長根(齋藤) 裕美	医療経済学I, II
	後藤 剛志	財政学I, II
	鈴木 慶春	ミクロ経済学I, II
	★関根 篤史	マクロ経済学Ⅲ, IV, V
	新関 剛史	マクロ経済学I, II
	◆橘 永久	開発経済学, 実証開発経済学, 資源経済学
田村 高幸	経済数学B	

IV 出願書類等

人文公共学府（博士前期課程）

追加募集出願書類等

令和5年度千葉大学大学院人文公共学府（博士前期課程）

Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs (Master's Program)

追加選抜入学願書

Application for Admission

ふりがな			受験番号 Identification number for entrance exam	(記入不要) Office use only	
氏名 Full Name					
生年月日 Date of Birth	昭和・平成	年	月	日	性別 Gender
		Year	Month	Day	男・女 Male Female
	(満 歳) Age				
志望専攻等 Division Name of Professor (Supervisor)	専攻 Division	コース Course			
	(人文科学専攻志願者のみ記載) (Applicant only for Humanities) 履修プログラム: program		【試験区分】※(「研究指導担当予定教員一覧」を参照のこと) Examination Category		
	第一希望教員 Full name of First Choice Professor (Supervisor)	第二希望教員 Full name of Second Choice Professor (Supervisor)			
	指導教員の第一希望教員名は必ず記入してください。第二希望教員名は必ずしも記入する必要はありません。 なお、第一希望、第二希望の教員は志望する専攻・コースから選択してください。ただし、指導教員欄への記載は、入学後の指導教員を確定するものではありません。 Please be sure to fill in the First Request Professor. It is not necessarily to fill in the Second Request Professor. Please select the Professor from the Division/Course you wish for. It is not fix.				
現住所 (受信場所) Address (Your location for receiving enrollment procedure documents)	〒	—		本籍地 (日本人のみ都道府県名を記入) (Only for Japanese Applicants)	
	(携帯電話) Mobile Phone Number	—	—	国籍 (外国人のみ記入) Nationality (Only for Foreign Applicants)	
	(電話番号) Phone Number	—	—		
	(メールアドレス) Mail address	@			
出願区分 Required Qualifications	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ				
	昭和・平成・令和	年	月	日	
	国立・公立・私立・ National Public Private Expected	大学 Name of School	学部 Name of Faculty	学科 Name of Department	卒業・卒業見込 Graduated
	日本国外・その他 Outside Japan Others				
長期履修学生 制度希望の有無 (Only for Japanese Applicants)	有・無 (社会人のみ)	国費外国人留学生 MEXT Scholarship	<input type="checkbox"/> (国費外国人留学生の方は、チェックを入れてください) If you are MEXT Scholarship please check		
在職者 Employed	所属機関名: Name of Organization 所在地: Address 職名: Status				
無職者・学生 Unemployed / Student	無職者の方は現状、学生の方は所属・身分(〇〇大学〇〇学部・学生・研究生等)を具体的に記入してください。 Unemployed Applicants: Please fill in the current situation Student Applicants: Please fill in the affiliated university / status (Name of School/Name of Faculty/Regular student/Reserch student,etc)				

(注1) 性別欄、出願資格欄及び長期履修学生希望の有無欄は該当事項を○で囲んでください。

(注2) 氏名、生年月日、性別、本籍及び国籍の記入欄は戸籍の記載により記入してください。

(Note1) Please circle applicable items in column Gender and column Required Qualifications.

(Note2) Please fill in column Name,column Date of Birth,column Gender and column Nationality by filling in the family register.

履 歴 書

Curriculum Vitae

氏名

Full Name

受験番号
Identification
number
for entrance exam

(記入不要)
Office use only

	年 Year	月 Month	事 項 Matters
学 歴 Educational background	年	月	高等学校 卒業 High school Graduation
	年	月	入学 Enrollment
	年	月	卒業・卒業見込 Graduation / Expect to graduate
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
職 歴 Employment history	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
賞 罰 Rewards and punishments	年	月	
	年	月	
	年	月	

- (注) 1. 学歴は高等学校卒業から記入し、履歴事項は漏れなく記載してください。
 2. 外国語で記入する場合、または記載欄が不足する場合は本様式に沿ってA4判の用紙を使用し、入学願書に添付してください。

Note1: Please fill out your educational background from high school graduation. Complete the form.

Note2: If you write in a foreign language or there is insufficient space to outline all your records on this form, please attach additional pages which should be according to this form of A4 sized paper.

「検定料収納証明書」貼り付け欄

○はがれないようにしっかりと糊付けしてください。

Securely attach a wire transfer certificate with a teller stamp so that it won't peel off.

令和5年度千葉大学大学院
人文公共学府（博士前期課程）

受験票（追加選抜）

Admission Ticket for Examination

受験番号 Identification number for entrance exam	(記入不要) Office use only
ふりがな	
氏名 Full Name	
志望専攻 Division	
志望コース Course	
志望履修 プログラム Program	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>写真貼付欄 縦4cm×横3cm 出願前3ヵ月以内 に撮影されたもの</p><p>Photo 4cm long x 3cm wide 3 months prior to the day of application</p></div>	

○

令和5年度千葉大学大学院
人文公共学府（博士前期課程）

写真票（追加選抜）

Photo ID Card

受験番号 Identification number for entrance exam	(記入不要) Office use only
ふりがな	
氏名 Full Name	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>写真貼付欄 縦4cm×横3cm 出願前3ヵ月以内 に撮影されたもの</p><p>Photo 4cm long x 3cm wide 3 months prior to the day of application</p></div>	

学 歴 調 書 (外国人志願者)

Curriculum Vitae for foreign applicants Foreign Applicants

氏名	自国語	Family Name First Name Middle Name	男 (M) ・ 女 (F) (sex)	生年月日 Date of Birth	年齢 Age	国籍 Nationality	在留資格 Resident Status	
	フリガナ	Family Name First Name Middle Name						
	ローマ字	Family Name First Name Middle Name						
学校名、所在地 Name and Address of School				正規の修学年数 Officially Required Number of Years of Schooling	入学及び卒業年月 Year and Month of Entrance and Graduation	修業年数 Period of Schooling	専攻科目 Major Subject if any	学位・資格 Diploma or Degree Awarded
初等教育 Elementary Education 小学校 Elementary School		学校名 Name 所在地 Location		年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs	/	/
中等教育 Secondary Education 中学及び高校 Secondary School		中学 Lower	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs	/	/
		高校 Upper	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs	/	/
高等教育 Higher Education 大学 Undergraduate Level 大学院 Graduate Level		学校名 Name 所在地 Location	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs	/	/
		学校名 Name 所在地 Location	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to	年 yrs	/	/
以上を通算した全学校教育修学年数 TOTAL				年 yrs	TOTAL	年 yrs		

研究歴 Research Activities	研究機関名 Name of Research Institution	所在地 Address	身分 Status	研究期間 Duration of Research ~	年数 yrs
職歴 Employment Record	勤務先名 Name of Organization	所在地 Address	身分 Status	勤務期間 Period of Employment ~	年数 yrs
日本語の学習歴 Japanese Language Education	教育機関名 Name of Educational Institution	所在地 Address	身分 Status	履修期間 Period of Study ~	年数 yrs

記入は、日本語又はローマ字体を用いること。(Please type or print in Japanese or English)

**令和5年度千葉大学大学院人文公共学府（博士前期課程）
実務経験等に関する調書（出願資格サのみ提出）【追加選抜用】**

Curriculum Vitae for Procedure for Verifying Qualification of Applicants

志望専攻等 Division	専攻 Division	コース Course	プログラム(人文科学専攻のみ) Program(Humanities only)
試験区分 (人文科学専攻のみ) Examination Category (Humanities only)	※ 人文科学専攻 基盤文化コース 又は 多文化共生コース の方のみ記載（「研究指導担当予定教員一覧」を参照のこと） Humanities only(Please refer to pages 15, 16)		

氏名 Full Name	
-----------------	--

学習歴（学歴） Educational Record	<p>1. 義務教育終了後から記入してください。 2. 外国人学校の卒業者は、高等教育から記入してください。 Note 1: Please fill in after compulsory education Note 2: Graduates from foreign schools, please fill in from higher education.</p>
-------------------------------	--

年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	

実務経験歴（職歴を含む） Employment Record	
-----------------------------------	--

年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	

研究歴等 Research Activities	
-----------------------------	--

年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	
年 月 ~ 年 月 year month year month	

- (注) 1. 実務経験歴及び研究歴は、志望専攻等との関連がわかるよう詳細に記入してください。
2. 研究発表及び出版物等がある場合は添付してください。
3. 本様式に書ききれない場合には、裏面に記入してください。

Note 1: Please fill in the Employment Record and Research Activities in detail so as to know the relation with the Division you wish to pursue.

Note 2: If you have research presentations and publications, please attach them.

Note 3: If you can not write it in this sheet please fill it on the back.

令和5年度千葉大学大学院人文公共学府（博士前期課程）

研究計画書

Research Proposal

【追加選抜用】

志望専攻等 Division	専攻 Division	コース Course	履修プログラム(人文科学専攻のみ) Program (Humanities only)
受験番号 Identification number for entrance exam		ふりがな	
(記入不要) Office use only		氏名 Full Name	
研究題目 Subject of Research			
研究計画 Plan of Reserch			
長期履修学生希望の有無（社会人のみ）			有 無

(注)人文公共学府ホームページ (<https://www.gshpa.chiba-u.jp/>) から様式をダウンロードできます。

Note: You can also download this sheet from Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs website. (<https://www.gshpa.chiba-u.jp/>)

令和5年度千葉大学大学院人文公共学府（博士前期課程）
追加選抜入学試験出願資格認定申請書（出願資格ケ，コ，サのみ提出）

Application for Recognition of Qualifications for the Master's Program

		年	月	日
		Year	Month	Day
千葉大学大学院人文公共学府長 殿 To Dean of Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs				
私は人文公共学府（博士前期課程）追加選抜入学試験に出願を希望します。 I would like to apply to take the entrance examination for Graduate School of Humanities and Studies on Public Affairs Master's Program. ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。 In that connection, I would like to obtain recognition of my qualification to apply. Accordingly, I have attached the prescribed documents and hereby request such recognition.				
氏名 Full Name		印 Seal		
生年月日 Date of birth		年 Year	月 Month	日（満） Day Age
出願資格の 該当区分※ Required Qualifications	ケ ・ コ ・ サ			
志望専攻等 Division	専攻 Division		コース Course	
	(人文科学専攻のみ) Applicant only for Humanities 【履修プログラム】 _____ Program 【試験区分】 _____ Examination Category			
現住所 Address	(郵便番号) Postal code (住所) Address (電話番号) Phone Number			
最終出身学校 University from which you will graduate or have graduated	(学校名) School Name		卒業・卒業見込 Graduated Expect to graduate 年 月 日 Year Month Day 修了・修了見込 Graduated Expect to graduate	
その他連絡先 (父母等) Contact other than the principal (Parents etc.)	氏名 Full Name (郵便番号) Postal code (住所) Address (電話番号) Phone Number		(続柄： Relationship)	

(注) ※ 欄は該当を1つ選び○で囲んでください。

Note: Please circle the corresponding item in ※ column.

令和5年度出願書類チェックリスト（追加選抜用）

Checklist of application documents(Winter Selection)

氏名：

Full Name

- 必要な出願書類がそろっているか確認のうえ、チェック欄の□にチェック✓を入れてください。不足書類がある場合は受付できません。
- 出願書類を作成する際には、必ず「I 追加選抜募集要項4. (4)出願書類等」3ページ~を参照してください。
- 印は必須のもの、△は該当する方のみです。
- * は所定の様式を使用してください。

Note1: Please check the required application documents and check in the checkbox. We can not accept if there is a shortage.

Note2: Please be sure to read after page 12 when preparing the application documents.

Note3: ○mark is required document. △ is only for the person concerned.

Note4: * mark, forms prescribed by this school.

		チェック欄 Checkbox column	人文科学専攻 公共社会科学専攻 公共学コース Humanities Study of Public Affairs and Social Sciences Courses of Public Affairs		公共社会科学専攻 経済・経営学コース Economics in English コース Study of Public Affairs and Social Sciences Courses of Economics and Management Courses of Economics in English	
		全ての書類がそろっていることを確認してください Please check the required application documents.	日本人 Jananese	外国人 Foreign Applicants	日本人 Jananese	外国人 Foreign Applicants
入学願書・履歴書* Application for Admission/Curriculum Vitae	外国人志願者も履歴書を記入すること Foreign applicants also fill in Curriculum Vitae.	<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
検定料の領収書等* Wire Transfer Certificate	「履歴書」の指定欄に貼付 ※国費外国人留学生は不要 Please attach a wire transfer certificate with a teller stamp. ※Mext scholarship students are exempt.	<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
受験票・写真票* Admission Ticket for Examination Photo ID Card	写真2枚を貼ったもの Please attach two photos.	<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
卒業(見込)証明書 Certificate of Graduation		<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
成績証明書 Transcript of Grades		<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
学位授与証明書又は 学位が授与される見 込であることを証明す る書類 Certificate of Application for Awarding of Degree	【出願資格イ、該当者のみ】 General Selection Qualification (2) only	<input type="checkbox"/>	△	△	△	△
研究計画書* Research Proposal	5部	<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
論文等(卒業論文・論文) Thesis	3部 論文題目及び氏名を記載した表紙が必要 A cover with the title of the paper and the name is required.	<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
受験票送付用封筒* Envelope "Contains Admission Ticket for Examinations"	長形3号封筒に344円分の切手を貼付 住所(日本国内)、氏名等を記入 Express delivery postage Write your name, address (in Japan).	<input type="checkbox"/>	○	○	○	○
学位授与を証明する書類 Certificate of Application for Awarding of Degree	学士学位証明等の写しを提出する場合は、窓 口で原本を提示 ※日本の大学を卒業した場合には不要 If you submit a copy of a bachelor's degree certificate, etc, please present the original at the counter. Applicant who graduated from an university in Japan is not required to submit.	<input type="checkbox"/>		○		○
住民票(原本)又は在留カード の両面写し Certificate of Residence(original) or Residence Card (Copies of both sides)		<input type="checkbox"/>		○		○
学歴調書 (外国人志願者)* Curriculum Vitae for foreign applicants		<input type="checkbox"/>		○		○
国費外国人留学生証明書 Certificate of MEXT Scholarship Student	【国費外国人留学生のみ】 Mext scholarship students only	<input type="checkbox"/>		△		△
出願書類チェックリスト* (この書類) Checklist of application documents (This Sheet)		<input type="checkbox"/>	○	○	○	○